



## 申6号「車両検修業務の体制見直し」に関する申し入れ 団体交渉開催！②

### 4. 土浦運輸区検修部門を勝田車両センター派出にするメリットを明らかにし、体制を強化すること。

組合:土浦運輸区検修部門を勝田車両センター派出にする根拠を明らかにすること。

会社:土浦運輸区検修部門と勝田車両センターとの役割が異なる。業務を融合し、経験を積むことにより、検修社員の技術力強化を目指していく。

組合:今後どのように首都圏輸送を強化するのか明らかにすること。

会社:土浦派出は首都圏輸送を担うため重要な役割がある。現行の出面数は管理が交代1、一般が交代1である。ダイヤ改正以降は管理が交代1、一般の交代2とし、本線対応をより強化していく。

組合:今後派出グループの融合について明らかにすること。

会社:土浦・水戸・いわきの各派出で業務の融合を考えている。

組合:通勤状況、家庭状況も考慮し、本人希望を尊重すること。

会社:現在は通勤時間短縮のために特急列車の通勤も認めるようになった。年1回の面談等により、本人希望を把握し、管理者が本人とコミュニケーションを図っていく考えである。

### 5.草野電留を終日不在にする根拠を明らかにすること。

組合:草野電留を終日不在にする根拠を示すこと。

会社:車両品質が向上し、営業列車に影響する故障がほとんど無くなった。異常時の際は、いわ

き派出から駆けつけを行う予定である。

組合:いわき派出からの駆けつけ体制を明らかにすること。

会社:日中帯であれば列車で駆け付ける場合やタクシーで駆けつける場合もある。過去にはいわき運輸区やいわき駅の社用車で駆けつけた実績がある。今後も連携して対応する。

組合:派出グループの在勤箇所については、ジョブローテーションの趣旨も踏まえ、本人希望を尊重すること。

会社:管理者と本人のコミュニケーションを図り、本人希望を把握していく。

「安全・健康・ゆとり」と「働きがい」のある  
職場を実現するため、JR東労組に結集しよう！

